

鈴木道太

（幼少）

教育評論家。

明治四十年八月一日宮城縣生乳（一九〇七）。

本文銀一。昭和二年宮城師範學校卒。小學校教員、役場吏員を務め、

九年宮城縣級方教育研究會組織、翌年北日本國語教育聯盟に參加、も

た教育同人誌『カラムード』主宰。十五年彈壓に下り檢察、下獄。戰

後は宮城縣兒童福祉司として活動。『鈴木道太著作選』全三卷（昭和

四十七年刊）がある。

著書『生活の中の教室―北方の教師の記録』（昭和二十六年八月）二十頁

東洋書館）、『兒童生活計の理論と實踐』（合著・日本兒童生活詩叢

本編集委員会編、昭和二十八年十一月）二十五頁銅社）、『女教師―

その苦悶と幸福の生活』（昭和二十二年一月）二十一頁新評論（等）。